

若手社員の特徴を捉えた円滑な技術・技能の伝承

対象：中堅技術者、中堅技能者

人数：20名

期間：2日間+1日間（フォローアップ研修）

技術・技能伝承トレーナー研修

背景

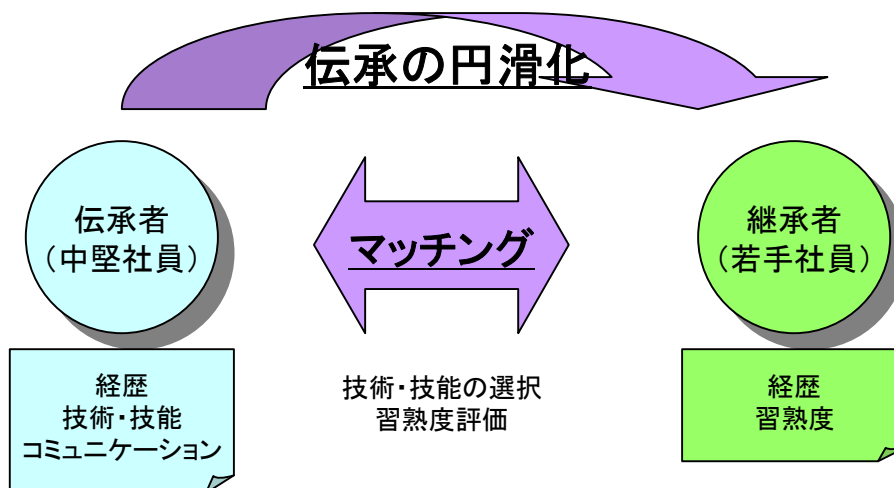
- バブル崩壊後の人材採用抑制等により30歳代の中堅社員の手薄な社員構成となっている企業が多く見受けられ、現場での若手社員の育成があまり機能していない。
- 昨今の経済情勢から、再び人材採用抑制の動きもみられ現在の若手社員の育成や活用が、今後、さらに重要な経営課題になるものと思われる。
- 特に技術職又は技能職では、若手技術者・技能者への技術・技能の伝承が重要なテーマとなっているが、中堅社員自身、指導経験に乏しく技術・技能の伝承を含めた若手社員の育成がうまく機能しておらず、モチベーションの低下や離職などが懸念される。

ねらい

- 中堅社員が自分の長所・特徴を認識し、若手社員に対する自分の役割を理解する。
- 中堅社員が自分の技術・技能を伝える効果的な方法を発見する。
- 若手社員の習熟度を測り、業務とのバランスをとりながら、それらを統合して若手社員を活用するための効果的な方法を発見する

特徴

- 講義と演習との組み合わせで現場ですぐ活かせる。
- 他の受講生からのフィードバックによる気付きを得ることができる。
- 技術者・技能者の多くが不得手とするコミュニケーショントレーニングを実施する。
- 若手社員の習熟度に応じた効果的な技術・技能の伝承に取り組む。（行動計画の実践）
- 行動計画実践後のフォローアップによる確認と見直し。（PDCAサイクルの完結）



お問合せは

EMI
www.sohatsuken.com

有限会社 創発マネジメント研究所

〒225-0023

横浜市青葉区大場町704-51-201

Tel/Fax:045-500-9026

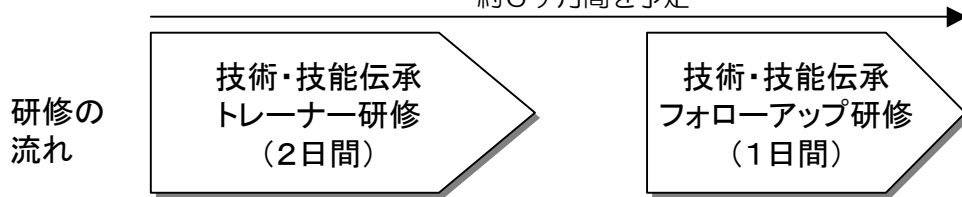
e-mail:sohatsu@sohatsuken.com

技術・技能伝承トレーナー研修

カリキュラム

(トレーナー研修：2日コース、フォローアップ研修：1日コース)

約6ヶ月間を予定



注記：トレーナー研修は2日間となっていますが、業種によっては3日間となる場合もあります。

詳細日程 (トレーナー研修)

1日目：技術・技能の整理・整頓

時間	テーマ	内容	実施方法
1.5時間	技術・技能伝承の課題	①中堅社員の課題 ②若手社員の課題 ③伝承の課題	講義 チーム討議
3時間	伝える技術・技能の評価	①自己経歴の振り返り ②自己保有技術・技能の評価 ③技術・技能の纏め(整理・整頓)	講義 個人ワーク チーム討議
2.5時間	伝承技術・技能の可視化(見える化)	①可視化の手段 ②可視化できる伝承技術・技能 ③伝承技術・技能の考え方 ④机上传承と現場伝承	講義 チーム討議 個人ワーク

2日目：技術・技能の伝承

時間	テーマ	内容	実施方法
3時間	技術・技能の伝え方	①若手社員の習熟度 ②習熟度毎の伝え方 ③コミュニケーショントレーニング	講義 ロールプレイ
3時間	伝える技術・技能の選択	①習熟度の測り方 ②伝承トレーニング	講義 ロールプレイ
1時間	行動計画	①伝承行動計画の策定 ②コミットメント	講義 個人ワーク

詳細日程 (フォローアップ研修)

フォローアップ：伝承の評価

時間	テーマ	内容	実施方法
3時間	実践報告	①伝承行動計画の実践結果報告 ②課題の洗い出し	発表 チーム討議
3時間	課題と解決策	①課題解決策 ②解決策検証	チーム討議 ロールプレイ
1時間	行動計画	①伝承行動計画の策定(修正) ②コミットメント	個人ワーク

トレーナー研修内容

1日目:技術・技能の整理・整頓

テーマ	研修内容	実施方法
技術・技能伝承の課題	①円滑な技術・技能の伝承を行うためにどのような課題があるのか、中堅社員(伝承側)と若手社員(継承側)の視点でチーム討議を行い、課題認識の共有化を図る。 ②円滑な伝承を行うためのマッチングについて講義を行う。 ③チーム討議結果をマッチングの視点で検討し、伝承の課題についてチーム討議し、課題認識の共有化を図ります。	講義 チーム討議
伝える技術・技能の評価	①各自が技術・技能を身に付けたプロセスを振り返り、スキルマップを作成します。 ②スキルマップで明らかになった自己保有の技術・技能を伝承の視点から評価します。 ③技術・技能の纏め(整理・整頓) <ul style="list-style-type: none"> ・伝承すべき技術・技能は何か? ・伝承する優先順位は? ・どのようなプロセスで技術・機能を獲得したのか? 	講義 個人ワーク チーム討議
伝承技術・技能の可視化(見える化)	①伝承すべき技術・技能の可視化について、どのような方法があるのか講義します。 ②各自、伝承すべき技術・技能の可視化の視点で検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・可視化が可能な技術・技能は何か? ・可視化以外の方法には何かがあるか? ③伝承する技術・技能の考え方についてチーム討議し、認識の共有化を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・結果(技術・技能)のみを伝えるのか? ・技術・技能を獲得したプロセスまで伝えるのか? ・新しい技術・機能を獲得する知恵まで伝えるのか? ④チーム討議により、机上で伝承する知識と現場でなければ伝承できない経験(体感)を明確します。	講義 チーム討議 個人ワーク

トレーナー研修内容

2日目：技術・技能の伝承

テーマ	研修内容	実施方法
技術・技能の伝え方	<p>①伝承する技術・技能のレベルと継承側のレベル(習熟度)について講義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような知識を持っているのか？ ・どのような経験を積んできたのか？ ・どのような資格を持っているのか？ <p>②習熟度毎に具体的にどのように伝えれば良いのか講義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定 ・方法論の検討 ・方法論の選択 <p>③伝承するための基本スキルであるコミュニケーションスキルについてロールプレイやフィードバックを通じて習得します。</p>	講義 ロールプレイ
伝える技術・技能の選択	<p>①継承者の現在の習熟度をどのように測るのか講義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価 ・推定評価 <p>アンカーポイントをどのように設定するのか？ 推定評価の修正</p> <p>②各自、具体的な継承者を設定して習熟度を測り、チーム内でロールプレイにより、実際の伝承トレーニングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果伝承、プロセス伝承、知恵の伝承 ・他メンバーからのフィードバック 	講義 ロールプレイ
行動計画	<p>①伝承行動計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝承すべき若手社員を設定 ・伝承計画の策定 <p>②コミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーへのコミットメント 	講義 個人ワーク